

刊夕日八廿月四

常 新 日 每 警 常

定価 一冊五錢
 廣告料 五銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常新日新聞社
 印刷所 常新日新聞社

ブラジル通信

平町出身 佐藤武雄

(二)

日本人としては加工場始
 めて、機械は獨乙に注文致
 してサントス港に着しまし
 たが、當分は組合員の二等
 品以下のトマテ丈けを加工
 する事になります、毎日
 二百箱位の見込で有りませ
 (二箱三十キロ)入れ取敢ず
 小生が工場主任兼技術員と
 云ふ事に成り組合の財産を
 負つて立つ事になりました
 トマテの加工は日本に於
 ける其れと大體異ひませ
 當地ではトマテマツサ(味
 噌)にするので當國として
 は又々此のトマテマツサを
 外國より輸入して居ります
 ので前途見込が有ると思は
 れませ

出来上つたマツサは甘キ
 ロ入れの大罐入れと半キ
 四分の一キロ、八分の一キ
 ロの四種の罐詰とし普通商
 店にては半キロ以下の罐詰
 を販賣して居り甘キロ入れ
 は市場に於て量り賣りをす
 る爲めに作つて居ります
 目下小賣は一キロ、十ミ
 ル、半キロ入れ六ミル(一
 ミルは日本金二十錢)見當
 で販賣して居り日本人が味
 噌醬油を使用すると同じく
 全部マツサを使用するので

有ります。

又當工場ではケチアツプ
 を製造いたして英國の市場
 へ出荷する計畫を進めて居
 ります、見本は發送致しま
 したから近く注文が有ると
 思ひませ

ノート

見ず知ら
 ずの人を
 突然訪問
 するは非禮紹介状を持參
 するか先方の都合を伺つ
 てから訪ねる

尙當工場では來年度より
 葡萄酒を製造する事になり
 葡萄の栽培組合も産業組合
 と合同いたしました

當伯國は一年中果物が出
 來て居る關係上飲食物も人
 工品が少なく天然スカツシ
 ュが多く飲み物は日本より

二明日の献立二

【朝】みそ汁：しじみ

【晝】含め煮：せんまい

油揚げ

【晚】煮肴：かながしら

進歩して居りますが、中産
 以下生活は又日本に比し
 雲泥の差が有ります、我々
 日本人は此等下等階級の土
 人を使用する事に依つて助
 かつて居ります
 木を切るに開墾に草取り
 に何れ安い日給で使用す
 るので有りますが、仲々此の

懸賞尋不自動車

弊店名義新品車

鑑札番號

福島縣一〇四、二八〇番

右新品自轉車ハ去ル三月二十二日購入セシガ、四月
 八日以來行衛不明トナリシ故、發見御知ラセ下サレ
 シ方ニハ懸賞金五圓也。御届ケ下サレシ方ニハドナ
 タニ不拘金拾圓也ノ懸賞金ヲ差上ゲマス。

平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

各國産
 漆器商
共榮漆器店

合服とレインコート

御召替の節です……
 キツト皆様の御氣に召す
 1933の春の新製品を豊富に
 取揃へ陳列して御座います。

新柄背廣	12.00
黒セル背廣	9.00
レインコート	9.00
パーバリ	3.20
トレンチコート	5.00

ふかや洋服店 平電 203



つとけ洋品店
 平町田町通電話六五六番

MSカメラ品附大特賣

花の春!!! カメラのシーズン!!!

散歩に御旅行に

春の行樂にはぜひMSカメラを

MSカメラ第一回懸賞寫眞募集

一、資格弊店より御買上のカメラで撮つた寫
 眞に限る事
 一、寫眞：櫻を背景とした人物及風景に限る
 一、大きさ：小型ベスト名刺版にて何枚出す
 も可 但し一人一賞の事
 賞品 一等銀カッパ以下十等迄
 〆切 四月三十日 發表 五月五日
 其他詳細は當店へ御問合せ願ます
 カメラ特約店

主催 平驛前いづみやカメラ部

吸入用酸素純度99%

度量衡

モノサシ
マ
ス
ハカリ

計量器

体温器
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内薬局

電話四〇番

全外 小兒科 内科

醫學博士 渡部 義夫

女 醫 渡部 さい子

平町田町大通リ(電話二七七番)

渡部 外科

水鐵軍を迎え

高月臺で球戦

磐中、平商軍勇奮

磐城中學校及び平商業學校野球部にては来る三十日午前九時より高月グラウンドに於て水鐵軍を迎へて一戦を交へる事になつたが組合せは午前平商對水鐵軍、午後磐中對水鐵軍にて同校のメンバーは左の如くいづれも今春第一回の對戦だけに選手達は自重して目下練習中である。

トボール 三段跳 障礙物競走 騎馬戰中隊 教練 合同休操 棒高跳 倒立競走 倒立静止 籠球 露營の夢 各部競走 八百米 プレーグラウンド ボール 小學校競走決勝

農會功勞者表彰

併せて講習入團式

坂浦中野八戸部野金 成井 成 石杉田荻金小阿小金 投捕一三遊右中左 坂邊原部木 田野本 赤渡菅阿佐 沼日宮

既報石城郡農會では明廿九日午前十時より團体事務所樓上に於いて八年度中堅農民講習生の入團式を舉行後午後一時よりは各町村農會職員中多年農會事業に盡力せる左記十四氏を表彰する

に當て、來たので最近では郡南小學校でも有数の標本を有して居るので村民より感謝されて居ると

運動會

プロ決定す

磐中の陸上

既報磐城中學校第三十五回陸上運動會は来る五月五日午前八時より磐中グラウンドに於て行れるがプログラムは左の如く尙當日は文會美術展覽會及び縣下各小學校兒童成績品展覽會を催すと

四會長谷川林平 高久鈴木正一 夏井渡邊泰衛 下小川箱崎伊之次郎 平鈴木良平 渡邊國井邦房 平窪鈴木忠三郎 飯野永山菊治 小名濱樋口速内郷吉田仙治 豊間鈴木青利 好間金成淺治 磐崎白鳥宏式

篤志の訓導

村民から感謝

石城郡山田村小學校訓導齊藤甚介氏は同校に理科用標本が少なく、多年に亘り自から村内の礦石古木及び骨類を蒐集しては是を教

上菊太郎 歌川絹枝主演 「時雨七曲り佐渡の唄」入江プロ現代劇入江たが子 松本泰輔 瀬良章太郎 中野英治 桂珠子主演 「滿蒙建國の黎明」

平町人事

回出生

△研町一 吉田榮三郎氏 三女千代子 △新川町一七 久保田英三氏 三女キク

回婚

△久保町四〇 永山一(二) △正内町六四 當時石城郡小名濱町宇古港五一 加藤要氏(二八)伊達郡梁川郡宇天明町三一 池田ツル(二六)

回死

△一丁目三四 當時東京市荏原區戸越町九四〇 鈴木見子(一九) △紺屋町三七 關内喜久次郎(三九)

關西の旅から

磐女修學旅行團

第三信(廿四日)

宿を出たのが七時半、昨日のつかれもすつかり直つて晴れやかに出かけました。最初に行つたのが伏見桃山御陵です。生ひ茂つた樹の間の白い道を進むうちに私共の心は壯麗な感で満たされました。次に乃木神社に参拜いた

しました。日露戦争當時の司令部の質素な建物や生ひた、死しての後まで尙大帝のお側近く侍る將軍の忠誠を思ひながら……

再び電車にゆられて今度は三十三間堂。博物館は素通りで、豊國神社へ参拜しました。それからすぐ傍の大坂の役の原に行きました。やつと見る事の出来る位の小さな文字を見た時は、こんな些細なものかと思はれはれました。奇麗な街を通つて西大谷に至り後清水寺へと向ひました。

清水寺に参拜後休憩所にて辨當を喰べる。肥つた外國の婦人が二人でゆつたりと歩いて行く。野も山も緑の色。樹下を歩む人々の顔が緑に反射してはつきりと初夏の様な氣がする。清水寺の石段にて記念寫真を撮る。十二時頃八坂塔を見物して丸山公園に向つた。説明者(案内者)が「此の公園は京都で一番の公園です」と云つたら誰かが「ホウ」と感嘆詞を發して今更のやうに四邊を見廻す。

丸山公園を出て智恵院に向ふ。一寸した坂を昇りきると澤山の人が出だつた。今日は智恵院に何かの説教があるさうだからそのためらしい。笛笙の音が壯麗に響いた。誰かが「忠臣藏映畫が思ひ出さる」と云つたので皆「ほんと」と感心しう

に云つた。皆忠臣藏を見たのかも知れない。こゝら邊りから皆、そろ／＼疲れ始めた。電車で北野神社へ向ふ。参拜後自動車にて金閣寺へ。何處にも金が無いので皆ぶつ／＼何か云つてゐた。それでも池の中に大きな鯉が居たので慰めだつた。三時半、嵐山の電車に乗る。電車を降りて大井河を渡り河畔にて寫眞を撮る。後木樹や河畔で良い景色を眺めながら暫く疲れた體を休めた。嵐山より電車で宿へ疲れた足に元氣が加はり皆の心は朗らかだつた。四條大橋の終點で乗換へるのさへ嬉しい氣持だつた。今日は随分歩いた。何處をどう歩いたか漠然としないう餘計に疲勞を感じる。只大正館の赤い旗を目印にして歩いた位が關の山。

湯に入りくつろいで夕飯を食べて皆の元氣は百倍した。「夜を盡と全で反對です」との先生の御言葉を一同くすりと首を縮めざるを得なかつた。「中條先生」と狂喜の如く叫ぶと、どし／＼と階段を駆け轉りた音が暫く續いたと問もなくしを／＼と歸つて來た。餘りの嬉しさ懐しさにガラスを壊したのだつた。ガラス辨償金の募集に奔走する人々もあつた。お蔭で關係のない人達も取られたさうな。罪な中條先生先生にお會ひ出來ても餘り嬉しくて話すことも出来なかつた。諸先生を初め皆祇園へ出かけた。京の街も今夜一晚の名残惜しい一時となつてしまつた。部屋に居る人はわづかに一人二人、淋しさがある家のこと等を考へ乍ら寝に就く。

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

一冊の代金

御希望通りな

五冊の雑誌

自由に讀める

川崎文庫

申込次第(規則書進呈) 電六三〇番

疑獄の準備公判

在平辯護士オンパレード

公判は六月十三四日

石城郡小名濱築港所長榎木篤夫氏を中心とする榎木の遺職、久保田眞、高木武士、鈴木省三、長岡義守、馬目雄次郎に對する各贈賄疑獄事件は既報の如く去る十八日豫審終決し本日午前十時より平支部準備室に於て中島裁判長係り小林檢察立會各辯護士及び各被告列席の

自轉車泥棒

平署に捕る

愛媛縣宇和島郡四濱村字川濱生れ當時住所不定無職田中重松(三)は昨廿七日午前十一時頃平町研町吉田榮三郎方より時價三十圓の自轉車一臺を窃取して是を舊城跡ラヂウム温泉宿に賣却した事發覺昨夜平署に檢舉されたが餘罪多數ある模様であると

申譯けの家出

失敗した床屋の弟子

石城郡内郷村字御殿山居住理髮師佐々木由之助方弟子山形縣東村山郡和田村字三坂生れ川原爲吉(一)は本月初旬福島市で行はれた理髮試験に失敗した爲師匠に顔向がならぬからとの遺書を置いて昨廿七日午前七時無断家出をなしたので本日平署に捜査願を出した

登録税九萬圓

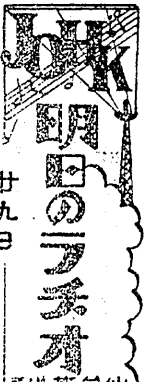
平管内の昨七年度

平區裁判所登記所に於ける昨七年度中に於ける會社及び不動産登記取扱ひ件数は五千二十四件にて之が登録税は二萬九千三百四十六圓一錢であるが四倉、小名濱上遠野、富岡、浪江、植田の各出張所合計一萬七千九百七十六件、金額五萬八千

泉農民大會

産業擴充協議

石城郡泉村農會では豫てより産業五ヶ年計畫書縣指定村



明日の天気
今夜は西の風や、強く晴明日北西の風晴

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
童曲 遠藤榮子外
後七、三〇 婦人の夕(雨月の心) 松平俊子(山に歸るツアラストラ) 実戸慎子(英國の小説に現はれた國際結婚の例) 岡本かの子(鳥を馴さんとす)
後八、五〇 義太夫「伽羅先代萩」淨瑠璃豊竹昇之助 三味線豊澤力松
後九、三〇 時報 全國ニュース 天氣豫報 番組豫告
後九、五〇 日本棋院春季大手合戦續ニュース

明日の部

前八、三〇 奉祝唱歌 女子放送合唱團
前八、四五 天長節觀兵式御模様(代々木聯兵場より中継)
前一一、一〇 講演
後一〇、〇五 箏曲 宮城道雄外
後一一、二〇 清元
後一一、五〇 運動競技「東京大學野球聯盟リーグ戦試合状況」法政對帝大明治神宮外苑球場より中継
後一、五〇 天長節奉祝國

江名衛生協議

石城郡江名町衛生組合では来る卅日午後一時より同町小學校に於て衛生區長會議を開き腸チブス豫防に關する打ち合せ會を催す

琵琶演奏會

美野旭佳女史の...
平町のり會、下東都のり會、では月一日、平町のり會、來月一日、に於いて筑前琵琶界に定評ある美濃旭佳女史を招き來月一日午後六時より丸友ホール樓上に演奏會を開く事となつたが會費十錢で一般の方も歡迎すると

平商校友會

會長以下、役員、平商業學校に於ける本年度校友會の會長及び部長は左の如くである
會長 矢野校長 副會長 服部教頭 文藝部 泉田 辯論部 中村 劍道部 麻原 柔道部 武川 野球部 宮澤 庭球部 室原 競技部 矢野 弓道部 新田

政友内郷部會

春期總集會
石城郡内郷村政友會支會では村議選舉を控へて居るの春期總集會を明廿九日午前十時より同村警城第二劇場に於いて開催する事になつた

平第一校の

リレー選手
平第一小學校が来る五月五日の警中グラウンドに於て行れる郡下各

寶生素詣會

卅日、住吉屋支店で、平町寶生會にては宗家佐野巖氏の來遊を機とし來る三十日午後二時より住吉屋支店に於て素詣會を催すが番組は高砂、巴、胡蝶、櫻川鞍馬天狗等にて番外としては佐野先生の放下僧及び八島の仕舞があると

醉漢大暴れ

平署に檢舉

平町鎌田町三九武藤貞義方同居人無職遠藤己代吉(三)は廿七日午後九時頃泥酔して二丁目三井自動車店に暴れ込み家人の爲めに道路に突出されるや往來に大の字

- △回人を求める方
△綿打工 二十五迄 尋卒
△印刷業見習 十六才 尋卒
△染物見習 十六才 尋卒
△仕着小遣(平町某)
△下駄職見習 十六才 尋卒
△仕着小遣(平町某)
△回職を求める方
△雜婦 五十才 尋三修
△給料面談(平町某)
△鐵工見習 十六才 高卒
△給料面談(湯本町某)
△給仕 十五才 高一修
△給料面談(平町某)
△女中 二十才 高卒 給料面談(大浦村某)
△自動車助手 十六才 高卒 給料面談(平町某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第三百二十五號

見山スリをユスル

佐々木見山は若い者の衣類の袖を揚げ、

佐「それ見ろ此の腕に墨が入つてゐるではないか、此筋は何だ、いや此の黒い筋は何だ」

○「それは刺青でございます」

佐「何だこれは刺青である、刺青ならば繪でありさうな物だが、これは黒々と一筋入つて居る、こんな刺青があるか」

○「それは蛇の巻き付つた刺青で」

佐「白痴な事を申すな、これは懲罰の爲めの跡であらう、跡は賊をいたした標に付けた物だぞ、不届至極、サ、此者より盗みし紙入をこれへ出せ、此上にも兎や角申すと其筋に引渡す、但しは紙入を戻すことを拒むか」と云ひながら其の腕をグーッと捻ぢ上げた、いや巾着切は其の痛さに耐えかね顔色を變へて、助けてくださいと弱い音を出した。それを見てゐた二人の同類、此所に居ては面倒と逃げ様とするを、見山が、佐「さて、泥棒逃げるよ小柄を飛ばして背を貫くぞ……」



○「旦那亂暴なことをしてはいけません」

佐「其仲間とはこれに居る二人か」

やいけませんよ、十兩と云へば大金でございます、商人の奉公人がそんなに持つてゐる譯がございせん」

しては受け取らぬ」

思つて居なされる、背中から引裂かれては大變だ」

○「驚いた、其れはね旦那、ちよいと紙入をかはしつたか」

の持つてゐた金がたしか」と云つた時に佐々木見山が

平町南町

三井タクシー

目丁二町平

番五八六話電

旭硝子株式會社製品

板ガラス

製造賣販
硝子食器
硝子壺
硝子鉢
硝子瓶
硝子箱
硝子櫃
硝子鏡
硝子燈
硝子扇
硝子傘
硝子靴
硝子履
硝子襪
硝子帽
硝子袋
硝子箱
硝子櫃
硝子鏡
硝子燈
硝子扇
硝子傘
硝子靴
硝子履
硝子襪
硝子帽
硝子袋

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

花柳科専門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際
電話三〇九番

愈々お待ち兼ねの新車!!!

三三型 スペツシャル・セダン

が到着致しました何卒舊に倍し御愛顧の程御願ひ致します

高級貸切

不二タクシー

電話 32

【助手入用】

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 内木宗八
整形外科
器泌尿科